KAKUDA PEARLS
SINCE 1931

# Pearl Necklace Buying Guide

あなたのネックレスに出会うための4章

賀田真珠

この冊子を手にとってくれて

ありがとうございます。

一所懸命につくった冊子なので、

こうして手にとっていただけたことは、

とてもうれしいことです。

こうして目をお通しになっているということは、

「真珠のネックレスを買おうかな」と

考えてくれたからだと思います。

そんな人に、ぜひ、いいネックレスに出会って

幸せになって欲しいと、心から願います。

この冊子にはそのために

どうしても伝えなければいけないことを

まとめました。

この冊子を読んで、

ネックレスとあなた自身が魅力的に引き立てあう、

そんなネックレスを手に入れてください。

そして、

充実感や感動を手にしてください。

真珠 真田

# Pearl Necklace Buying Guide

あなたのネックレスに出会うための4章


はじめに 01

1 真珠のチェックポイント 02
①世界の中の日本の真珠 03
②あこや真珠は使っていただく機会がとても多い 04
③サイズ 05
④カタチ —バリエーション、カタチと値段— 06
⑤色 —バリエーション— 07
⑥マキ厚とテリと干渉色 08
⑦キズ 09

2 ネックレスを知る 10
①ネックレスとしての評価 —テリ、キズ、連相— 11
②いつまでもきれいなあこや真珠のネックレスとは 12
③あなたに似合うネックレスを選ぶ —サイズ、長さ、色— 13
④一緒にそろえたいもの —イヤリング、指輪— 16
⑤ネックレスとTPO —この場面ではどのネックレスを着ければいいのか?— 17

3 役に立てるお店の選び方 20
①お店選びのコツ —あなたのよき相談相手となれるお店とは— 21
②真珠のアフターケア —自分でできるケア、お店がするべきケア— 22
③花珠鑑別書 23

4 購入前に知っておくべきこと 24
①過剰な宣伝広告 25
②真珠ではないものを選んでしまうこと —真珠と模造真珠— 26
③ニーズをはずした買い物 27
④購入してはいけないお店 28


鑑別真珠

# はじめに

皇族方や、お気に入りの女優さんが真珠のネックレスをつけている姿に魅せられたことはありませんか？パールとそれを身につけている人の見事な調和は、つける人のセンスと知性を強調し、信頼感や責任感を際立たせ、見る人を魅了します。

「セレブリティが着けているからとても綺麗！やはり高価なのだろうな」と思われたかもしれません。だけど、なにも高価なネックレスなら綺麗というわけではありません。あなたに似合うよいネックレスを見分けるポイントは、お値段だけじゃなく、実は別にあります。

あなたによく似合うお気に入りの洋服は、あなたの気分を高揚させ、自然と心が弾み、笑顔をさそうことでしょう。よく似合うジュエリーにもそんな効果があります。着ける人に自信をくれて、また内側から輝くような美しさを引き出してくれるのです。

この冊子では、そんな真珠のネックレスに出会ってもらうために、どうしても伝えたいことをまとめました。伝えたいことはたくさんあるので、少々冊子にボリュームが出てしまいました。

## あまり時間のない方は…

第2章だけをお読みください。ここでは、あなたにもっとも似合うネックレスの選び方や、この場面ではどのネックレスがふさわしいかといったフォーマルのきまりごとを説明してゆきます。それだけでも十分にネックレス選びのガイドになります。

## 時間がある方は…

第1章も読んでください。さらに深く、あこや真珠とはなにかを説明してゆきます。もっと深く知りたい方は、ぜひ第3章と第4章も読んでみてください。販売する側からみた、良いネックレスと出会えるお店の選び方や、誤解を招きやすい表現などを説明してゆきます。

冬の海で太陽が昇る前から真珠貝の世話をするものも、ひたすらネックレスを組むものも、そのネックレスがあなたを魅力的に引き立てて、あなたが充実感や感動を手になさることを心から願っています。この冊子を読んで、ぜひそんなネックレスに出会ってください。

鳥羽真珠

# 1

# 真珠の
# チェックポイント

この章では、
「日本産のあこや真珠」と
その“チェックポイント”を説明してゆきます。

はじめに、なぜこの冊子は
「日本産のあこや真珠」を薦めるのかを、そして
「サイズ」「カタチ」「色」「キズ」「マキ」「テリ」といった
評価基準と良し悪しのチェックポイントを
説明してゆきます。

真珠の品質は
いくつかの“チェックポイント”を知らないと
どれも同じに見えてしまうものです。

でも大丈夫です。

しっかりと“チェックポイント”をおさえれば
真珠は他の宝石に比べて品質の良し悪しが
とてもわかりやすい宝石なのです。

鳴田真珠

# ①世界の中の日本の真珠

真珠には大きく分けて、あこや真珠、白蝶真珠（南洋真珠）、黒蝶真珠、淡水真珠の4種類があります。あこや真珠はそのほとんどが日本で生産され、少量が中国南部やベトナムで生産されています。白蝶真珠はオーストラリア、インドネシア、フィリピンで、黒蝶真珠はフレンチポリネシア（タヒチ）とミクロネシア諸国で、そして淡水真珠のほとんどは中国で生産されます。つくられる量は淡水真珠が一番多くてすべての真珠の80%以上といわれています。

それぞれの真珠にはそれぞれの特徴があります。あこや真珠の魅力は、どの種類の真珠よりも美的感覚に訴えかけてくる色と輝きが強いことです。白蝶真珠の魅力は、その大胆なまでのサイズにあります。黒蝶真珠はエキゾチックな色彩が魅力で、淡水真珠は安価であるという価格的な魅力が持ち味です。

それぞれの真珠がことなる魅力を持っているわけですが、私たちはこの冊子で“あこや真珠”をお薦めしています。その理由は、あこや真珠は使っていただく機会がとても多いからです。

## ②あこや真珠は使っていただく機会がとても多い

フォーマルな機会はもちろんですが、カジュアルな普段使いにも活躍します。フォーマルな装いには、その場面に合った度合いが求められます。お昼に催される礼装で参加の式やパーティーでは、ダイヤなど輝きの強いものは控え、ベーシックな真珠のネックレスやパールジュエリーなど優しい輝きのものが正解です。

真珠のネックレスを何本も持っていて、それを場面に合わせて使うことが出来れば一番ですが、そうもいきません。はじめての真珠のネックレスには、どんな場面にも合わせられるものがベストの選択となるでしょう。10mm以上がポピュラーサイズの白蝶真珠は美しく豪華ですが、控えめであることが要求される「喪」の場面では少々難易度が高いと言えます。

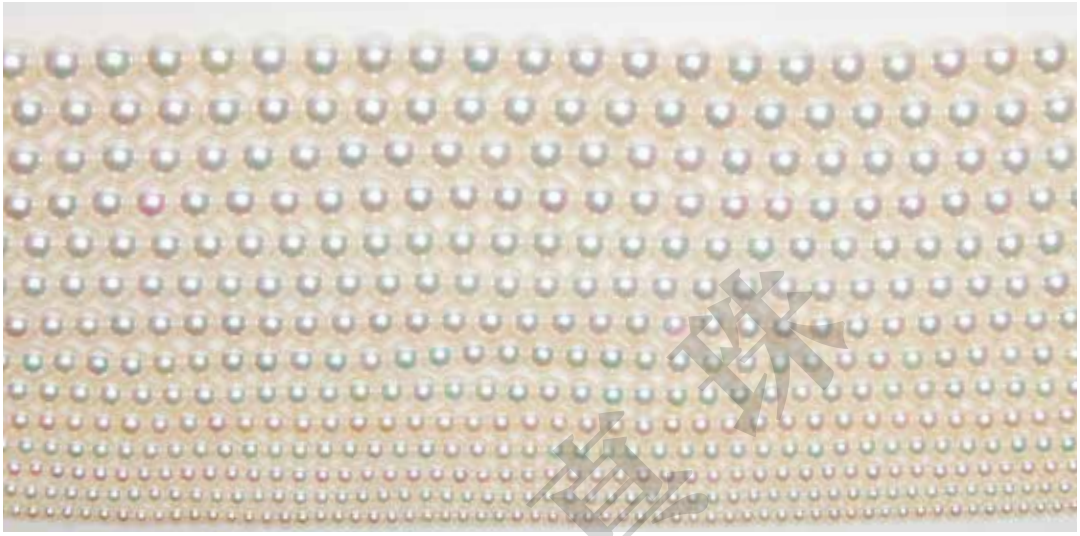
黒蝶真珠も「黒」という色の持つ特徴から、どんな洋服でも合わせることが出来るわけではありませんし、あらゆるお祝いの席で使用できるというわけにもいきません。

代表的なフォーマルの場面は結婚式やお葬式ですが、相反するこの二つの場面の両方で使えるのは、あこや真珠のネックレスで、最もポピュラーな7.0×7.5から8.0×8.5mmといったサイズです。「喪」の場面でも、あらゆるお祝いの場面でも使えます。

このサイズのあこや真珠のネックレスは、カジュアルな普段使いでも大活躍します。大きすぎないサイズとホワイト系の色目は、合わせられる洋服の色の幅が広く、ほどよいボリューム感がちょうどよいワンポイントになります。何気ないシャツに合わせていただくだけで、女性らしい優しさと知性、たおやかさ、上品さを装いにプラスします。コーディネイトの仕方によっては、純粋や清楚などのイメージも、身につける人から引き出します。ビジネスの場面でも、いつものスーツとシャツに合わせるだけで、センスと知性が強調され、信頼感や責任感を際立たせます。

鑑別書

## ③サイズ



ベーシックなユニフォームタイプと呼ばれるあこや真珠のネックレスは、0.5mm刻みで製作されます。例えば「7.0×7.5mm」とあれば、クラスプ付近（ここをスソと呼びます）から両側約1／4は7.0から7.25mmの珠を使い、ネックレスの約半分にあたる真ん中部分（ここをセンター付近と呼びます）は7.25から7.5mmの珠を使います。言い換えれば「7.0×7.5mm」の表記があるネックレスは7.0mmよりも小さい珠を使ってはいけないし、7.5mmよりも大きい珠は使っていないということです。売り場で不安になったら、真珠のサイズを測るゲージというものを借りて、クラスプ付近の珠のサイズを測ってみるのもいいかもしれません（真珠のサイズはふるいにかけて測るので、最少径が表示サイズを切る場合もあります）。表示よりも小さい珠がたくさん混ざっていたら、考え直したほうがいいでしょう。

一般的にお店で買えるあこや真珠のサイズは3.0×3.5から9.0×9.5mmです。ケシと呼ばれる無核の真珠なら直径が1mm台のネックレスもあります。まるで絹糸のように繊細で、数十本を束ねて使うのが一般的です。

大変希少ですが、大きいものでは11.0×11.5mmというサイズもあります。白蝶真珠や黒蝶真珠であったら一般的なこのサイズですが、あこや真珠独特の色と輝きを好まれ、その希少性を知っているお客様には今でも根強い人気があります。

いろんなサイズの珠で組む「グラジュエーション」というスタイルもあります。一般的にはスソに3.0mmを使いセンターに7.5mmを使うものか、5.0mmをスソに8.25mmをセンターに使うものがあります。20世紀の前半から60年代にかけては、この2サイズのグラジュエーションネックレスが世界の主流でした。大きなサイズの真珠が技術的に生産出来なかったからです。この時代には8mm台の真珠はとても希少で、大珠（おおだま）と呼ばれていました。ハリウッドの映画は時代考証をちゃんとしていて、この時代が舞台になる映画では、小さくてとても女性的なこのグラジュエーションのネックレスがしばしば登場します。

見本真珠

## ④カタチ —バリエーション、カタチと値段—

生きものがつくる真珠ですから、いろいろな形があります。ほとんどの真珠は、中心に軸をもつ回転対称のカタチをしています。回転軸を縦にしたときに、まんまるがラウンド、縦長がドロップオーバル、横長がボタンです。まんまるに近いドロップオーバルやボタンはセミラウンド（セミ）か、オフラウンド（オフ）と呼ばれます。言葉にするとなんだか難しいですが、写真を見てもらうと分かりやすいと思います。

ほとんどの真珠が中心軸に対して対称なカタチをしているわけは、真珠が貝の体内で回転しているからだと思われます。この中心軸に沿って穴をあけてネックレスにします。ネックレスの両方のすそをつまんで机の上を転がしてみたときに、珠のひとつひとつが波を打たずにスムーズに回転したら、中心軸に沿った穴あけがされていて、いい仕事がしてあるといえます。試してみるのもいいかもしれません。

このカテゴリーに入らないのがバロックです。このカタチは中心軸がとりにくいのですが、貝が育む独特の造形に奥深い魅力があり、ジュエリーに造詣の深い人たちに、とても人気があります。

カタチとお値段の関係ですが、すべての価値基準が同じでカタチだけがちがうとしたら、お値段はボタン、ドロップオーバル、ラウンドの順番に高価になってゆきます。ボタンとドロップオーバルは、ラウンドに近いほど高価になります。

多少ドロップオーバルやボタンでも、着けてしまうと分かりにくいものです。もちろんその度合いによりますが。微妙な形のちがいよりも、色目や輝きはとても力強く主張します。私たちプロが購入する場合には、カタチが多少ラウンドから外れたもので、その分、色目と輝きを優先させることが多いです。

見本

## ⑤色 ―バリエーション―

真珠の色の表現には、ダイヤモンドのような色基準がありません。統一基準がないので、人によって表現の方法がちがいます。ネックレスメーカーが共通の言語で表現しているのは、白、グレイ、クリーム、イエロー、ゴールデンといった、パッと見たときの色合いです。クリーム、イエロー、ゴールデンは黄色の濃さの度合いで区別されます。これらは、とても濃い金色以外は、お値段的には白いものよりも控え目に評価されます。黒蝶真珠は、色のバリエーションがあこや真珠よりも広く、ピスタチオ（殻をむいた中身の鮮やかな黄緑）やピーコック（干渉色を伴う鮮やかな緑）などいろいろありますが、あこや真珠では基本的に、この黄色のグループと白のグループ、グレイ（ブルーを含む）の3種類が大まかな分類になります。

その大まかな分類の中でも、例えば白のグループの中ではホワイト、ピンク、グリーンピンク、シャンパンロゼ、ブルー、シルバーと様々な系統があります。お店では「白いネックレスでピンク系」とか「ブルーっぽい白」と、自分の言葉で求める色のニュアンスを表現してみてください。

真珠の色は様々な要素の調和の結果です。貝の体内で真珠が成長してゆく段階で巻き込んだ有機物の色や、何層にも重なるたんぱく質層の色、丸い真珠に光が差し込んだり跳ね返されたりする干渉という光のハーモニーが、一つの色では表現できない立体的な色合いを生み出します。

上質な真珠をよく観察すると、中心部に出る色と中心の外周に出る色が違うのが分かります。それよりも上質なものは中心部がメタリックに強く輝き、外周部が透明に瑞々しく見えます。

もう一段上の最上級のものは、外周部が瑞々しさを通り越して全体に濡れてみえます。外周部の色が実体色で、中心部に出る色が光の透過による干渉色です。さらに珠全体にかかる七色の輝きをみつけたら、それが光の反射による干渉色です。真珠の美しさの象徴といえるのが、この干渉色です。

良い真珠は一粒の真珠でも、中心部の色と外周部の色、そして全体にかかる虹色と、とても立体的に見えるものです。このような現象は、真珠層の薄い真珠ではあまり見ることができません。この色の奥行きの有無が、上質を見分ける一つの材料になります。

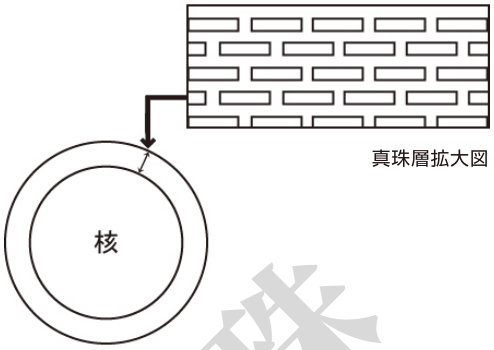
鑑定見本

## ⑥マキ厚とテリと干渉色

真珠の価値基準の多くは、「マキ厚」によって左右されます。マキというのは、貝が体内に抱いていた核にどれぐらい真珠層を巻きつけたかを指します。マキにはいろんな条件のちがいで差がでてきます。一般的には、養殖期間が長ければマキも厚くなります。マキはそれだけではなく、核を貝に入れる際の技術や、使用する貝のコンディショニングを含む養殖技術、水温やプランクトン量などの海の状態にも大きく左右されます。つまり、貝の気持ちになって貝を育てることが出来たら、しっかり巻いたよい真珠になります。

十分なマキがないと（真珠層の厚みが不十分だと）、真珠の耐久性に影響が出ます。汗や化粧品に含まれる酸は、真珠を溶かします。極端に薄いマキの真珠を、きちんとしたお手入れをせずに長い時間ご利用になれば、肌に当たる部分から次第に核は露出してきます。核には輝きがありませんから、そうなってしまうとはっきりと遠目にも分かります。

また、不十分なマキは輝きにも影響します。真珠の輝きの度合いは、「テリ」と呼ばれるとても大切な要素です。真珠を二つに割って、断面を電子顕微鏡で覗いてみると、核の上に透明のレンガをぐるっと積み上げたような模様が現れます。



真珠層拡大図

この炭酸カルシウムのレンガ層は、あらゆる層で光を通したり跳ね返したりします。マキが厚いと、その透明レンガを積み上げた層も厚くなり、たくさんの透明レンガに光が反射することになり、テリが強くなります。ただし、一個一個のレンガの厚みが分厚いばかりで層の数が少ない場合や、キレイにつみ上がった層の上を濁った層が被ってしまっている場合は、厚マキでも強いテリにならないことがあります。

マキの厚さの計測は、音波を使う方法やレントゲン撮影をする方法で出来ます。これならだれにでもわかる目安になるので、品質の一つの基準として採用している鑑別機関や販売店も多いようです。例えばあるデパートではマキの基準を、研究所が0.3mm以上と認めるものに限定しています。ダイヤの鑑別基準で有名な米国宝石学協会（GIA）も真珠の鑑別を始めたようで、0.15～0.35mmを「薄マキ」、0.36～0.51mmを「中マキ」、0.51mm以上を「厚マキ」と定義しているようです。

しかしどんな方法を使おうが、0.01mmまで正確には測れるものではありません。なぜなら、真珠は丸いので、同じ珠でも測る場所で毎回毎回出てくる数字が違ってくるからです。ですので、これも目安と考えてください。しかしあったほうが安心できますし、便利な目安です。

また、マキは色の要素で紹介した「干渉色」にも大きく作用します。光を受け止める層の数が多いほど、光はより多く複雑に透過し跳ね返され、虹のような干渉という光学現象も起こすのです。

鑑別真珠

## ⑦キズ

白キズ（キズが摩滅して核が露出した）

加工キズ（スポット）

漂白過多

白キズ（膨らみをもった）

加工キズ（白キズから広がった）

穴口の壊れ

真珠の評価基準の中で、注意深く見ればだれでもわかるのが「キズ」です。真珠の滑らかな肌が少しでも乱れていれば、人によってはそれを「キズ」と呼びます。真珠の商いに携る人達は、色やカタチ、テリ、マキ、サイズ等の評価要素の中で、キズやカタチにおいては妥協して、テリやマキをとる傾向があります。テリやマキが真珠にとって、最も大切と考えるからです。しかし「キズ」にもタイプがあって、「見逃してもよいキズ」と「見逃してはいけないキズ」があります。

### 見逃してもよいキズといけないキズ

「見逃してもよいキズ」とは、耐久性に影響を及ぼさないキズです。真珠がそこから壊れたり、広がってゆくことのないキズのことです。点や線状のキズ、突出したキズでも、その上を真珠層がしっかり巻いているものがそれにあたります。また「見逃してはいけないキズ」とは、購入時よりも大きく広がっていってしまうキズや、そこから変質してしまう耐久性に影響を及ぼすキズです。養殖段階で貝がつくる「白いキズ」、有機物を真珠から抜く際に出来てしまった「加工キズ」、「穴口の壊れ」などがそれにあたります。

### 白キズ

貝が作る白いキズとは、「貝が分泌する真珠成分ではないものが真珠に巻いた結果」だとする説も、「真珠自身が真珠を溶かす酵素を分泌した結果」とする説もあります。この白い部分は真珠層よりも弱いので、そこから劣化する可能性があります。白キズがあまりにも大きいのは、敬遠したほうがいいサインです。

### 加工キズ

真珠内のシミを除去する処理を長時間した場合に、真珠層まで壊してしまったキズです。これも程度問題ですが、あまりにもはっきりとした加工キズは、過激な処理をほどこしていると考えられ、そのような真珠も劣化の可能性が高いと考えられます。

### 穴口の壊れ

ネックレスの珠と珠の接する部分をよく見てください。真珠層が割れていたり、そこから核が見えていることがあります。これも真珠層の割れが進む可能性があるので、おすすめできません。

簡単なようで実は難しいのが、キズの見分けです。以上紹介した「見逃してはいけないキズ」には気をつけてください。

見本

# ネックレスを知る

2

この章ではさらに
あなたのベストパートナーとなる
ネックレスの選び方に入ってゆきます。

はじめに、これまで見てきた真珠の
「色」「テリ」「キズ」などを
ネックレスとしてはどのように「評価」するのか、
そしてネックレスの大切な価値である
「連相」とはなにかをみていきます。

次に、購入したときの美しさを
「いつまでも保つ真珠のネックレス」とは
どんな条件を満たすものなのかを説明します。
そして、「あなたに似合うネックレスの選び方」を、
「大きさ」「長さ」「色」などから見ていきます。

次に、ネックレスと一緒にそろえたい
「イヤリングや指輪などの選び方」を紹介していきます。

最後に、この場面では
どんなネックレスがふさわしいかといった
「TPOとフォーマルの決まりごと」を紹介していきます。

鑑定真珠

# ①ネックレスとしての評価 —テリ、キズ、連相—

それでは、ネックレスとしての価値基準を見てゆきます。
「真珠」そのものの評価と「ネックレス」としての評価を比べると
少し評価のポイントが違ってくるのが分かると思います。

## テリ

あこや真珠には、虹色のような独特の深いテリがあります（1章⑤⑥）。ネックレスを選ぶときは、好みの色でテリが強いものを、優先項目として選ぶのが良いでしょう。それは、身につけたネックレスはキズやカタチではなく、テリと色目と大きさで力強く主張するからです。

## キズ

目を近づけてじっくり見れば、だれにでも分かる価値基準なのでついこだわりたくもなりますが、キズも自然がつくりだす天然の証です。大きなキズでなければ着用される時には気にならないことがほとんどです。それほど神経質にならない方が、良い選択に繋がるでしょう。しかし第1章で紹介した、品質に影響してしまうようなキズには注意してください。テリが弱くてキズのないネックレスと、テリは強いがキズもあるネックレスが、同じお値段で並んでいてどちらかを選ぶ必要があるとするなら、後者を選ぶべきです。テリが強くてキズのないものがベストですが、すべてのポイントで評価の高いものはそれなりに高価です。予算が限られる時は、気にならない程度の「妥協ポイント」を探すことが、上手な買い物をするポイントなのです。そして、他の要素では妥協してでもテリを最優先する選び方は、真珠のプロに多い選び方です。

## 連相（れんそう）

連相とは、そのネックレスを構成する珠の色やテリがどれだけ揃っているかの度合いのことです。言い換えれば、ネックレスの完成度です。完成度が高ければ「連相の良いネックレス」、低ければ「連相の悪いネックレス」と表現します。「白くて丸いもの」というイメージの真珠ですが、実際は一粒一粒の真珠が多様な個性を持っていて、なかなか揃わないのが現実です。ブローチ用に2、3粒の真珠を合わせるのに苦労することもありますが、ネックレスだと7.5～8.0mmで約53粒、8.0～8.5mmでも約50粒の真珠で組み上げます。これだけの数の真珠の色とテリを合わせるとなると、メーカーの技術の差がはっきりと現れます。連相が良いほど統一感があり、完成度の高いネックレスとして正装感は高まります。

あえて様々な色を混ぜて組む、マルチカラーというタイプのネックレスがあります。このタイプのネックレスにも、連相の良し悪しがあります。連相の良いマルチカラーネックレスをよく観察すると、そのテリ、キズ、カタチがピタリと統一されている事に気づきます。

そして、色目だけが不規則を装いながらも、とてもバランスよく配列されています。

見本真珠

## ②いつまでもきれいなあこや真珠のネックレスとは

ダイヤモンドとちがって、真珠は生き物がつくり出す自然の産物で、有機物でできています。
そのせいで、いつまでも永遠というわけにはいかず、
使ってくださる方と一緒に歳月を重ねてゆっくりと姿を変えます。
これを経年変化といいます。とはいえ、あまりにも変化の激しいものは問題です。
永くきれいな真珠のネックレスとはなにかと考えた場合、

> Ⅰ:経年変化に堪えうる真珠層を持ち、
> Ⅱ:経年変化が起こっても変化がわかりにくい、
> Ⅲ:過度な加工を施していないもの

という3つの条件が挙げられます。

### Ⅰ

マキが厚いほど、経年変化が少ないといわれます。予算が許すなら第1章で紹介した、長い養殖期間をかけたコシモノやマキ厚保証書がついたものがベターです。

### Ⅱ

経年変化は程度の差こそあれ、必ずあらわれます。ネックレスはたくさんの真珠が連なってできていますが、そのひとつひとつがバラバラに変化すると、ネックレスの大切な要素である連相が悪くなってしまいます。
ネックレスを構成する真珠が、すべて同じ産地で育ったものなら、もっといえば同じ養殖場で育ったものなら、いろんな産地の真珠を混ぜたものよりも永く均一さを保ちます。これなら連相が乱れにくいといえるでしょう。

### Ⅲ

あこや真珠には加工処理がほどこしてあります。過度の加工は真珠を痛め、その耐久性にも影響します。
通常あこや真珠は、微量の染料を用いて珠の色合いを整えてあります。これは、真珠が本来持っている魅力を最大限に引き出す処理ということで、「調色」と呼ばれています。流通しているあこや真珠のほとんどには、この処理が施されています。
しかし、あまりに無理のある加工を施したものは経年劣化が激しい傾向があります。染料を用いた調色の度合いが軽度で、過度の漂白などもしていないものか、「無調色」と呼ばれる天然に近い加工のみの真珠がおすすめです。

以上のⅠ～Ⅲの条件に合うネックレスが、私たちがおすすめする、永く美しいネックレスです。
しかし、このようなネックレスを見つけるのは、かなり難しいのが現実です。それは、一定以上のマキ厚の真珠とそれ以外のものを区別したり、単一養殖場の珠でネックレスを組むメーカーは少ないからです。これができるのは、大規模な養殖を行い、自社で加工、選別・ネックレスメーキングまで行い、品質劣化を引き起こす核や、出先不明の原料珠などを完全に排除できる真珠会社だけとなります。現在、そのような会社は日本中に数社しかありません。

鳳月真珠

## ③あなたに似合うネックレスを選ぶ

ここでは、どのサイズの真珠を使ったネックレスで、
どんな長さで、そしてどの色目が
あなたにベストマッチなのかを見ていきます。
この3つはネックレスを着用したときの
全体の雰囲気をもっとも左右する要素ですので、
しっかりおさえておいてください。

### サイズ

あなたにベストマッチするサイズの目安を割り出す簡単な方法があります。
簡単です。すぐにできます。ぜひやってみてください。

| あなたの年齢は? | あなたの身長は? | あなたの体型は? |
|---|---|---|
| A）20代 | A）150cm | A）かなり細い |
| B）30代 | B）155cm | B）細い |
| C）40代 | C）160cm | C）普通 |
| D）50代 | D）165cm | D）ややふくよか |
| E）60代 | E）170cm | E）ふくよか |

はい完了です。
A＝1点、B＝2点、C＝3点、D＝4点、E＝5点です。合計何点でしたか?

3〜5点だったら7mm、6〜10点なら7.5mm、
11〜13点なら8mm、14〜15点なら8.5mm以上がベストマッチです。

これで、おおよそのサイズの見当がつくことでしょう。
しかし、これは大まかな目安ですから、実際にネックレスを胸元にあててみると、
なるほどぴったり!と思われることも、印象の変わることもあります。
かならず着用してみてください。
お好みもありますが、あまり小さすぎるもの、大きすぎるものは
お使いになる場合によっては場違いな雰囲気になることもあります。
この方法を参考に、お似合いになるサイズをお店で色々試してみてください。

鏡田真珠

チョーカー　プリンセス　マチネー　オペラ　ロープ

## 長さ

一般的に店頭に並んでいるあこや真珠のネックレスは、16インチ（約41cm）の「プリンセス」です。留め金（クラスプ）をつけると約43cm。無難な長さといえます。しかし、そのままではネックレスの良さを生かしきれません。それは、使う人それぞれに首から胸元一帯のバランスがあるからです。「プリンセス」がもっとも映えるのは、ネックレストップ（真ん中の部分）が両鎖骨の間のくぼみにおちついているときです。珠の抜き足しをせずに、この位置にトップが納まる方はなかなかいません。華奢な方では5〜6珠抜くこともあります。

また、あわせる機会の多い服の襟や、胸の空き具合を説明して、販売スタッフの見立てを聞いてみるのもいいでしょう。例えば、ブラックフォーマルは襟元が詰まったものが多く、普段着の感覚でネックレスの長さを合わせてしまうと、せっかくのネックレスが服の中に隠れてしまうことがあります。そんな時は服の外に出るよう、少し長めに調整するか、洋服よりも上になるよう、少し短めに調整します。

### ●若い方には…

短めに調整することをお薦めします。短めだとネックレスのトップが顔に近くなり、顔周りを明るく見せ、華やかさを引き立てます。若い方には往々に華奢な方が多いので、調整なしのプリンセスでは着けたときに長めに見えてしまい、顔から離れすぎてせっかくの効果が薄れてしまいます。もっとも効果的な長さに調整されていると、つける人とネックレスの一体感が増し、借り物のような印象がなくなります。

### ●プロポーション豊かな方には…

ネックレストップが鎖骨と鎖骨の間では窮屈なイメージになることがあります。首元が詰まって首を短く見せてしまうからです。そこから2cmほど下る位置だと、あごの下からネックレストップまでのスペースが強調され、首が長く見えてスッキリした印象になります。

### ●年齢を重ねられた方には…

思い切って胸元あたりまで長くすると、上品で落ち着いたイメージになります。

あこや真珠のネックレスには長さのバリエーションがたくさんあります。スタイルごとに長さが異なり、それぞれに名前がついています。代表的なスタイルが、チョーカー（14インチ約35cm）、プリンセス（16インチ約41cm）、マチネー（21インチ約53cmでチョーカーの1.5倍）、オペラ（28インチ約71cmでチョーカーの2倍）、ロープ（42インチ約107cmでチョーカーの3倍）といった具合です。プリンセスを除き、一番短いチョーカーを基本にしたサイズ展開になります。

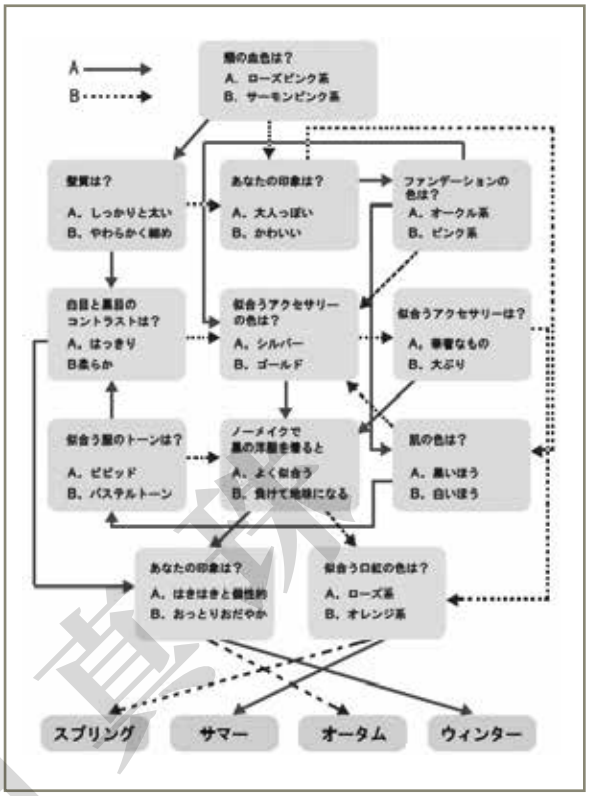
マチネーはフランス語で演劇や音楽会の昼公演を指し、オペラは夜公演が一般的だったことから、これらの言葉が用いるようになったと考えられます。長いほど正装感が増すというのが伝統的な考え方ですが、今日ではプリンセスの4倍の長さのものを、いろんなバリエーションで楽しんだりします。

どんな長さがいいのか、販売スタッフのアドバイスを参考にいろいろと試して、オーダーメイド感覚でこだわってみてください。「これがスタンダードで、みなさんこの長さですよ」と長さ調整に難色を示すお店は、ベストマッチのネックレスを一緒に探すパートナーにはなれません。あなたのベストマッチがどれなのか、親身にアドバイスする販売スタッフにぜひ出会いたいものです。

鳥田真珠

## 色

パーソナルカラー分析を知っていますか?
誰でも、似合う色とそうでない色が存在します。その方の肌や目や髪の色とその調和を分析して、もっともマッチする色のグループを割り出すのがパーソナルカラー分析です。
パーソナルカラーは4つのタイプに分けられ、それぞれを四季になぞってスプリング・サマー・オータム・ウインターと呼ばれます。似合う色を身につけると、肌の透明感が増して明るく見え、顔立ちをすっきりさせる小顔効果、瞳がすっきりとみえるなど、いいことづくしです。真珠も実体色と干渉色の組合せにより、豊富な色のバリエーションがあります。そこから自分にベストマッチの色を見つけ出すのも楽しい作業です。ネックレスをこだわって選んでみましょう。
まずは右のチャートで、あなたのカラータイプを診断してみてください。




自分のタイプにたどりつきましたか? 簡単に説明すると、

スプリングタイプ :黄味がかった、明るくソフトなトーンがお似合いになる方
サ マ ー タ イ プ :青味がかった、ソフトなトーンがお似合いになる方
オータムタイプ :黄味がかった、ダークトーンの濃い色がお似合いになる方
ウインタータイプ :青味がかった、ダークトーンの濃い色がお似合いになる方

ということになります。次に、それぞれのタイプの方にマッチする、ネックレスの色をみていきます。

スプリングタイプの方 :実体色が少し黄味がかり、ピンクの干渉色の入ったネックレス
サ マ ー タ イ プ の 方 :実体色が青味がかり、ピンクの干渉色の入ったネックレス
オータムタイプの方 :実体色が少し黄味がかり、グリーンの干渉色の入ったネックレス
ウインタータイプの方 :実体色が青味がかり、グリーンの干渉色の入ったネックレス

という感じになります。ここにでてくる「実体色」とは白、グレイ、ブルー、クリーム、イエロー、ゴールデンといったパッと見たときの色合いで、「干渉色」とは真珠の中心部に出る光の透過によって現れるピンクやブルーやグリーンの色です。自分がどのタイプなのかを知った上で、実際にあわせるときの参考にすると、選び方に幅が出て、よりベストマッチのネックレスに近づけます。ぜひ活用してみてください。

鑑定用

## ④一緒にそろえたいもの —イヤリング、指輪—

真珠のネックレスを購入するときに、予算に余裕があればぜひ一緒に購入したいものがあります。イヤリングやピアスです。着用した時のバランスを考えると、ネックレスより一回り大きなもの（例えば7.5mmのネックレスならば8mmのイヤリング）がとても合います。

サイズ、長さ、色とここまでこだわって選んだネックレスに、ピッタリと色合わせされたベストサイズのイヤリングピアスのセットは、普遍のスタンダードです。あなたのセンスと知性を強調し、信頼感や責任感を際立たせる心強いパートナーとなります。セットで着用されることで、正装感は一層高まります。

さらにフォーマル性を高める意味で、あるとよいのがあこや真珠の指輪です。これがあると、結婚式などのお祝いの場面でも、控えめであることが必要な喪の場面でも対応可能で、セット全体の使用頻度が高まります。ネックレス、イヤリング、指輪と揃える場合、一番大きいサイズの真珠を指輪に、次にピアスに、そしてネックレスにと選ばれると、セットでつけたときのバランスが最も美しくなります。もちろん色やテリが、ネックレスとイヤリングピアスで合ってなくてはいけません。

オールマイティなフォーマル用の指輪をお探しなら、ホワイトメタル（プラチナやホワイトゴールド）の、なるべくシンプルなデザインを選びます。デザインの中にダイヤを使ってないほうが、喪の席など控えめのお席でも失礼になりません。華やかなお席では、このシンプルな指輪にお手持ちのダイヤや色石の指輪を重ね付けされるのが、おすすめのコーディネイトです。

見本写真

## ⑤ネックレスとTPO —この場面ではどのネックレスを着ければいいのか?—

いろんなバリエーションのネックレスを、いろんな場面で気楽にカジュアルに使っていただきたいものですが、ドレスコードのあるフォーマルな場面では、型どおりであることが求められる場合もあります。また、型を知っておけば、それを上手にアレンジしたり崩したりもできます。ここでは、場面ごとに要求される型を説明してゆきます。

フォーマルを服飾の面で考えると、一定の形式を守ることで敬意を表現するということではないでしょうか。つまり、その場面できめられている形式や規律を守ることで、そのイベントや主催者、主賓、参加者への敬意の表現になります。気持ちだけでなく、形で敬意を表現することといえるでしょう。

フォーマルウェアには昼用と夜用、そしてそれぞれに、「正礼装」「準礼装」「略礼装」があります。昼と夜とでは、夜のほうが肌の露出が増しフォーマル度がアップします。また、昼は自然光で映えるような優しい色や輝きの優しいものをチョイスし、夜は照明に映える華やかな色や輝きを放つものや、存在感のある大きさのものが定番です。

### 正礼装

昼:アフタヌーンドレス(ロング丈で袖付きのドレッシーなワンピース)

○ベーシックなパールジュエリーなど優しい輝きのもの

×ダイヤなど輝きの強いもの

夜:イブニングドレス(ローブデコルテ、胸や背中が大きく開いた袖なしのロング丈)

○ダイヤなど輝きの強い宝石

○真珠ロングネックレスなどボリュームのあるもの

### 準礼装

昼:セミイブニング(カクテルドレス)

○ベーシックなパールジュエリーなど優しい輝きのもの

夜:アフタヌーンドレス(肌の露出を押さえたセミイブニングドレス。丈の決まりはない)

○ダイヤなど輝きの強い宝石

○真珠ロングネックレスなどボリュームのあるもの

### 略礼装

昼:セミアフタヌーンドレス(ドレッシーな感じのワンピース、アンサンブル)

○ベーシックなパールジュエリーなど優しい輝きのもの

夜:カクテルドレス(アフタヌーンとイブニングの中間、イブニングドレスを簡略化したもの)

○ダイヤなど輝きの強い宝石

○真珠ロングネックレスなどボリュームのあるもの

見本

正準略礼装のいずれの場面でも、お昼の会には真珠がかなり活躍するのが分かります。夜の会でも、オペラやロープ、マルチカラーなどの真珠のネックレス、ダイヤなど輝石と一緒にデザインされたパールジュエリーなどは活躍します。こうしてみますと、フォーマルにおいてもっともオールマイティに使えるのが、真珠だというのが分かります。

しかし多くの人にもっとも馴染みのあるフォーマルというと、冠婚葬祭ということになりますね。身近なフォーマル、冠婚葬祭のシーン別にふさわしい装いを紹介します。

### 冠（成人）

冠婚葬祭の「冠」は昔でいう元服、すなわち成人式を意味します。もっと広げて考えるならば、高校や大学への入学、就職など、その人にとって意味を持つ節目とそのセレモニーと考えられます。

大人の仲間入りや、一つ上の世界へのステップアップを果たして、これから自分を築いてゆくあなたにふさわしい装いはどんなものなのでしょうか。あまり大きすぎない、7mmのネックレスとピアスのセットはどうでしょうか。清純さと知性を感じさせます。色目は、若々しさが感じられる瑞々しい透明感のあるブルーベースのピンク。少し短めに長さを調整して若々しさを強調します。

また、こういった節目にご両親がお嬢さんに真珠のネックレスをプレゼントしてあげるケースがよくあります。これは、これからお嬢さんが新しい世界で出会う人たちに、失礼のない心構えを持たせてあげる意味を持ち、深い愛情とつける人を育んだ家族の温かい雰囲気を感じさせるものです。この場合もやはり、どんな状況にも対応可能で、正装感を高めるホワイト系統の色目のあこや真珠のネックレスとイヤリングピアスのセットが、もっともお役に立ちます。

### 婚（結婚）

冠婚葬祭の「婚」は結婚を意味します。親元を離れ、最愛の人と新しい家族となる門出の日です。愛情を受け、大切に育てられた真珠の凛とした美しさは、花嫁にどこか似ています。真珠のネックレスは花嫁を、より一層清楚に美しくひきたてます。ドレスと一緒にイミテーションの真珠をたくさん使った華やかなアクセサリーをレンタルすることもできますが、やはり本物がもつ上質な品のある輝きは、アクセサリーでは表現できません。

6mmほどの小粒の真珠で作る2連のドッグネックレス（首にぴったりと付く短いネックレス）、もしくは8mmで短めに仕上げたシンプルなネックレスなどがおすすめです。2連のものは、これから華やかなお席用に沢山活躍の場がありますし、1連に仕立て直せば小粒の分、カジュアルさが増し、普段使いのロングネックレスとして活躍します。8mmのシンプルなネックレスなら、式が済んだらちょうど良い長さに仕立て直し、これからの大切な場面でずっとご使用いただけます。8mmの大きさがあれば50代、60代と年齢を重ねられても、大きさが物足りなくなることもありません。

また、結婚式に招待された時も真珠が大活躍です。その日の主役はやはり花嫁ですから、あまり過度に目立つ装いは避けたいものです。披露宴はお昼に行われることが多いので、正装のフォーマル度を考慮しても、優しい輝きの真珠のネックレスが一番良い選択です。ドレスがデザインの凝ったものであれば、シンプルな一連のネックレスを。シンプルなドレスの場合は、真珠のネックレスを前面に押し出して、ロングネックレスや2連3連にしたものを着け、全体のバランスを考慮しましょう。その場に会ったフォーマル度で、大人の品格を演出しましょう。

見本

います。ゴールデンやマルチカラーのような、特に華やかさを演出する色目でなければ、どんな種類の真珠のネックレスでも応用可能です。しかし、もっとも正装感を高めるのは、やはりホワイト系統の色目のあこや真珠ネックレスだと、私たちは考えます。

訃報は突然来るものです。だからこそ、事前の準備が大切です。突然の訃報に、敬意とセンスのある正装で応じることができれば、知性や教養を備えた大人の女性の印象を強くします。

### 葬（喪の席）

冠婚葬祭の「葬」はお葬式、喪の席を表します。喪の席ではどんなネックレスを身につければいいのか？この質問は、お店でもよく受けるものです。華やかなお祝いの席よりも一層気をつけなければいけないのが、喪の席です。故人の死を悼むお別れの席です。基本は「華美に偏らない」ということにつきます。

二連のネックレスなどは「不幸が連なる、重なる」を連想させますので、一連のものに限ります。ネックレスとイヤリングをセットで使い正装感を出すことで、喪主や故人への敬意を表現できます。

使用できる真珠の種類ですが、黒蝶真珠やアコヤ真珠のナチュラルグレイのネックレスを使う方もいます。ゴールデンやマルチカラーのような、特に華やかさを演出する色目でなければ、どんな種類の真珠のネックレスでも応用可能です。しかし、もっとも正装感を高めるのは、やはりホワイト系統の色目のあこや真珠ネックレスだと、私たちは考えます。

訃報は突然来るものです。だからこそ、事前の準備が大切です。突然の訃報に、敬意とセンスのある正装で応じることができれば、知性や教養を備えた大人の女性の印象を強くします。

### 祭

冠婚葬祭の「祭」は先祖の霊をまつる事全般をさします。法事やお盆など様々です。全ての「祭」で真珠のネックレスを着用されることはないと思いますが、喪の席と同様、先祖を敬う気持ちの表現として正装感を高めるのに、真珠のネックレスとイヤリングのセットを着けられる事をおすすめします。

---

冠婚葬祭を見てきましたが、真珠のネックレスを着ける機会は豊富で、もっとも出番の多いアイテムだとおわかりいただけると思います。だからこそ、真珠のネックレスをわかった上で、あなたのベストマッチを選んでもらうことが大切です。

ここまで読んでいただければ、ご自分にはどんなネックレスが似合い、そして必要か、少し見えてきたのではないでしょうか。しかしどこのお店でも、ここまであこや真珠のネックレスをわかった上で、お客さまをサポートできるわけではありません。また、選択できるほどの豊富な商品量があるかというと、それも難しいでしょう。思いつくお店を片端から回るのでは、エネルギーと時間がかかりすぎますから、購入するお店の候補を絞り込む必要があります。次の章では、お店選びの参考になる考え方を紹介してゆきます。

真珠宝石

# 3

# 役に立てるお店の選び方

さて、これまで
第1章ではあこや真珠についての基本を、
そして第2章ではネックレスの
見分け方と選び方を中心にみてきました。

次は“どこで探すか”です。
どこのお店でも
豊富な知識と商品のバリエーションで
お客さまのネックレス選びを
サポートできるわけではありません。

この章ではまず、
「お店選び」の参考になる考え方を紹介します。
そして、購入後の
「真珠のネックレスのケア」について
ご自分でできること、お店がするべきことを、
最後に、
よく耳にする「花珠鑑別」についての
私たちの考え方を紹介します。

鑑定真珠

## ①お店選びのコツ —あなたのよき相談相手となれるお店とは—

ネックレスは購入して終わりではありません。
メンテナンスやリフォーム、イヤリングを片方なくしてしまった時などには、
お店と相談することが必要になります。
よき相談相手には、誠実さと豊富な知識と知識をつねに更新する努力が求められます。
それを見分けるポイントを説明してゆきましょう。

### お店に入ったら

- ●商品がきれいに陳列されていて、清掃が行き届いているか
- ●商品説明（POP）があり、その時々のおすすめの商品などがわかるか
- ●販売員がすぐに声掛けをせず、ゆっくりと店内を見られるか
- ●真珠のルース（デザインする前のセットされていない真珠）を扱っているか

商品に気を使い大切に扱っているお店は、商品をきちんと陳列し、掃除も行き届いているものです。そして安売り告知のPOPではなく、商品に興味を持っていただこうと作ったPOPがあれば、商品の特徴を良くわかった販売員がいるという証拠です。次に、すぐに声掛けしないお店は、ただ売るだけではなく、お客さまに良い買い物をしてもらいたい、そのためにまずはゆっくりお店全体をみて商品を知ってもらいたいと考えているのです。最後に、ルース（指輪などにセットされる前の真珠）のあるお店ですが、真珠をルースで販売するにはある程度の経験が必要になります。ジュエリーは小さな違いが大きく全体の印象を変え、洗練にも野暮にもなります。製品に仕上がったものを販売できても、組み合わせをイメージし、提案できる販売員は少ないものです。真珠のルースを扱うお店は、その真珠にどんなデザインが合うのかちゃんと提案できる、経験豊富な販売員がいる証拠です。

### 接客を受けている時

- ●商品を丁寧に扱っているか
- ●その商品の長所、短所をわかりやすく説明できるか
- ●購入の即断を迫らないか
- ●商品の特徴だけではなく、コーディネイトの提案ができるか
- ●長さやサイズなど、あなたに似合う商品の提案ができるか

商品はその店の物ではなく、お客さまの元へ届くまで私たちが一時的にお預かりしているのだと。そのように考えているお店では、商品の扱いは丁寧になるものです。また、その商品の長所だけでなく、短所も説明する誠実さがあるかどうかが大切であることは、前述のとおりです。そして買い物の時間を楽しんで頂きたいと考える販売員は、お客さまがじっくりと考えて、最良の選択をされることを望んでいます。そんな販売員は購入の即断を迫らないでしょう。商品に自信があれば、強引な押し付けはないはずです。そして商品の説明だけではなく、あなたに似合うネックレスの長さやサイズ、そのコーディネイトまでの提案が出てきたら間違いないでしょう。

真珠見本

# ②真珠のアフターケア —自分でできるケア、お店がするべきケア—

真珠のネックレスを永くご使用になるには、時に洗浄、磨き、糸替えをすることが必要です。
きちんとしたアフターケアを提供しているかどうかも、お店を選ぶ基準のひとつになります。
ここでは、ご自分でできるケアと、お店がするべきケアをみてゆきます。

## 自分でできるケア

真珠は傷つきやすくデリケートな宝石なので、普段自分でできる最良のケアは、拭くことにつきます。ご使用後は、やわらかい布（セーム革やメガネ拭き等）で汗や埃を優しく拭き取ります。

クラスプを外した状態で片方の端を持ち、もう片方の手に持った布でクラスプ付近の珠を包み込み、そのまま下まで3回。反対側の端に持ち替えて、同じ要領で上から下に3回。慣れたら10秒もかかりません。ケースにしまう前のこの一手間で、真珠と地金の美しさが失われずに長持ちします。それは歯磨きや洗顔と同じで、簡単だけど大切なことです。習慣化すれば面倒にもなりません。保存においては、適当に湿度のある、あまり高温にならない場所が最適です。ジュエリーケースに入れておいて、直射日光があたらない場所なら大丈夫です。一つ気をつける必要があるのは、真珠はダイヤモンドや多くの貴石よりも柔らかいので、他のジュエリーと擦れあうとキズがつくことがあります。トラベルケースなどにしまう場合には気をつけてください。また、真珠のネックレスを長期にわたって毎日着け続けるのも、真珠にとってはよくありません。極端な例ですが、以前持ちこまれたブレスレットの修理品は、真珠の肌に触れる部分が擦れたか、汗に含まれる酸で溶けてしまい、俵型に変形していました。数年間、ミサンガのように身につけたままにされたとのことでした。
ご使用のあとには、優しくその日の汚れを落としてやり、適度な休息を与えてください。

## お店がするべきケア

日々、丁寧に自分でケアをしても、どうしても取りきれない汚れやダメージは、少しずつ真珠にたまってゆきます。なんとなく表面がざらついていませんか？ネックレスの糸に緩みはありませんか？そんな時は、遠慮なくお店のケアを受けてください。洗浄を施し、磨き直し、糸替えが行われた真珠のネックレスは美しくよみがえります。見違えるほどです。ダメージが月日とともに積み重なってしまったネックレスは、元に戻らないかもしれません。そうならないためにも、1～2年に一度の定期的なメンテナンスをおすすめします。予防を兼ねた定期的なメンテナンスが、美しい真珠をいつまでも楽しんでいただくポイントです。同時にそのメンテナンスの提供は、販売店の責任です。購入したお店がなくなってしまったとか、プレゼントの品でどこで購入したかが分からない、通販で買ったが販売元が分からないなど、こうしたケアを受けられない状況があるなら、私共がケアを引き受けます。遠慮なくお問い合わせください。また、お店のケアを受けるときは、折角の機会ですから、以前仕立てた長さが今もベストマッチしているかどうか、プロの客観的な意見を聞いてみましょう。ほんの2～3粒真珠を足したり抜いたりするだけで、ぐんとイメージが変わります。また留め金（クラスプ）を交換して「見せるクラスプ」や「アレンジの効くネックレス」など、遊び心を加えた仕立て直しをするのも、真珠を日常で使いこなす上級者への一歩です。

見本

## ③花珠鑑別書

花珠鑑別書を知っていますか？最近では、テレビの通販でも紙媒体の販売でも、よく目にします。花珠とはなにか？私がかつて大正生まれの真珠業界の古老に聞いた話では「ハナ珠」とは、志摩地方で養殖が緒に就いた20世紀のはじめ頃、養殖や加工など産業の川上にいた人が使いはじめた業界用語で、収穫の中の1%に満たない、抜群に綺麗なものをそうよんだのが始まりだそうです。「ハナ」とは花でも華でもなく、船のへサキの一番前の細くなっている部分に由来するそうです。「ハナ珠」は、人によって基準の違う自由な抽象概念です。公的な機関もその定義をしていません。宝飾業界でも共通の基準はないのです。

だれにも定義されていない抽象概念だけに、自由に使うことができるので、たくさんの鑑別鑑定機関が独自の基準で花珠鑑別をして、鑑別書を発行しています。主流となっているのが、真珠総合研究所と真珠科学研究所が発行するものです。

私たちは花珠鑑別を否定しません。一定の品質以上であることの安心の補強には、とてもよいと思います。しかし、それ自体をセールスポイントにしてしまい、そのネックレス固有の特徴や長所短所を説明できなかったり、お客さまの用途や予算に合わせた提案ができないのでは、話になりません。私たちは、その真珠のネックレスの1つ1つの特徴を、お客さまに納得いただけるよう丁寧にご説明いたします。お客さまの望まれる良い特徴を持った真珠を、お値打ちにご提供できる努力を行っています。どんなことでも沢山質問していただき、本当に好きになれるネックレス選びをお手伝いできればと考えています。

---

さてここまで、どんなお店であこや真珠のネックレスを購入したらいいのか、お店の見分け方をみてきました。それは、すべてのお店が豊富な知識と商品のバリエーションで、お客さまのネックレス選びをサポートできるわけではなく、よき相談相手となれるお店は、豊富な知識とつねに知識を更新する努力を重ね、購入いただいた後も責任をもってネックレスのケアをすることが求められ、鑑別書に頼り過ぎない商品提案ができる、ということでした。

これは、私たちが考える販売店のあるべき姿で、自分達もそのサポートができているかどうか、常に自己点検と改善を重ねています。私たちは、お客さまに永く安心してご愛用いただけるネックレスを提案いたします。ネックレスを購入された時から、お客さまと私たちとのご縁が始まると考えています。私たちをお選びいただいたことへの感謝と責任を、私たちは負い続けていきます。

見本

# 購入前に
# 知っておくべきこと

4

「買う前に知っていたら…」
と思ったことは、私自身
いろんな買い物で経験してきました。

真珠のネックレスにも
買う前に知っておくべきことがたくさんあります。
他の買い物よりもたくさんあるかもしれません。

それを知らないまま
ネックレスを選ばれるのは、とても危険です。
少なくとも、この冊子を手にとって下さった方だけでも
それは避けていただきたいと思います。

真珠のネックレスを買ってくれた人が
後悔することがないように、
4つの代表的な知っておくべきことを
説明してゆきます。

鶯田真珠

## ①過剰な宣伝広告

真珠宣伝

テレビの通販などでは、「最高級品」と銘打たれた真珠のネックレスが3万円以内で出ています。テレビに映るそのネックレスはとてもキレイで、イヤリングや指輪、ペンダントまでセットになって付いてきます。ガイド役のタレントさんが「ええっ！この値段で?」と驚きの声あげ、すっかりその気にさせてくれます。また新聞広告でも、真珠のネックレス販売をよく見かけます。そこには「○○産」「特選品」「80%off」とか、「中間マージンカットで実現のお値段」などと赤い字で書かれています。「限定卸価格29,800円」「ほぼ無傷」、8.0～7.5mmのサイズで「イヤリングセット」と書いてあります。どうもかなりお買い得のようです。親戚や友人の結婚式がすぐ来週末に迫っていたなら、気持ちを動かされても不思議ではありません。

しかしここには、良心的なお店ならしない、首を傾げたくなる表現がたくさんちりばめられています。「最高級品」という表現ですが、3万円では最高品質のあこや真珠のネックレスはまず買えません。この業者さんが扱うのが低級品中心で、「その中ではこれが『最高級品』です」ということなのでしょうか。それに「限定卸価格」ということです。「限定」はまあいいとしても、広告を出して小売をしている以上、卸売りではないので、「卸価格」ではなく小売価格です。これは見る人に卸値で購入できるチャンスなのでは、と誤解をさせてしまいます。

さらに「80%off」の表現ですが、普段この価格に80%乗せて売っているとしたら、今回3万円で売っているものを、通常15万円で売っていることになります。だとしたら、この業者さんはお客さんにとても大きな負担を強いています。もしも15万円で売っている事実がなければ、“不当景品表示法”の“不当な二重価格表示”にあたるのではと心配します。

こんな風に、なんとなくお得な印象を受ける言葉にも微妙なものがあります。このようなキーワードに出くわしたら、一歩さがって考えてみてください。通販だけでなく、お店の店員さんの口から出てきても、それがあり得る話かどうか見極めることが大切です。

## ②真珠ではないものを選んでしまうこと —真珠と模造真珠—

真珠でないものを真珠と思って購入してしまうことが実際にあるのです。こんな話があります。贔屓にしてくださるお客さまのご友人が、他所で購入になったネックレスのメンテナンスをと来店されました。このお店では、どこで購入されたものでも、できる限りのケアのお手伝いをします。そのネックレスは、誕生日の記念にプレゼントされた思い出の品ということですが、模造真珠だったのです。模造真珠であっても、それは思い出の詰まった大切なネックレスです。できるだけのケアはさせていただきます。ただ、お預かりする際には、これがなになのかはお伝えしなくてはなりません。これはお客さまには辛いことです。本物の真珠に携わるものにも辛いことです。

真珠業界の最上部団体である社団法人日本真珠振興会では「真珠」を定義づけています。それは、生きた真珠貝が体の中で作ったものが「真珠」で、それ以外はすべて「模造真珠」であるとしています。人が真珠層と同じ成分を真珠核に何層に塗っても、それは「模造真珠」です。飛行機の機内販売でも「本物の貝核を使い、パールエッセンスを何層にも重ねた○○パール…」などといったものをよく見かけます。模造であっても、真珠もしくはパールを名乗ることは許されるので、そんな商品に惹かれたら商品の説明をよく読んでください。読んでも分からないようなら、説明をぼかしているということでしょうから、疑ってみる必要があります。

また、「本真珠」という言葉があります。この言葉を真珠振興会は定義付けておらず、人によってその解釈が異なる自由な言葉です。あこや真珠＝本真珠、という解釈の人もあれば、模造真珠以外は本真珠、という人もいます。すべての真珠を「本真珠」とする場合、中国で大量に生産される安価な淡水真珠も、日本で生産されるあこや真珠も「本真珠」となります。

中国の淡水真珠は、日本の海で生産される真珠と質的に大きく異なりますが、安価であることが魅力です。その安価な真珠を、生産国や海産か湖沼産かを表示せずに「本真珠」として販売していることがよくあります。この言葉が出てきたら、どこの国産か、海で育まれたものなのか、淡水湖沼で作ったものなのかに気をつける必要があります。

見本真珠

## ③ニーズをはずした買い物

ネックレスの購入には様々なニーズがあります。
自分のニーズをある程度しっかりさせておくことが、よい買い物につながります。
代表的なケースをみてゆきましょう。

### 子供の代に受け継ぐものを購入したい方には

ある30代のお客さまは、結婚したときに母のネックレスを譲り受けて、結婚10周年のその日まで使っていました。今度は自分で買おうと考えていて、「今回はこれから頑張る自分のために、しっかりした品質のものを手に入れて、5歳の娘が結婚するときには母がしてくれたようにプレゼントしてあげよう」と考えています。
子の代に受け継ぐものということなら、かなりしっかりした品質でないといけません。紫外線、化粧品や汗などの酸にも、永く耐えられるものでなくてはなりません。それには、長期間養殖をした“こしもの”や、真珠層の厚みを測定した品質保証書のあるものがぴったりです。お値段もやはり、しっかりしたものになります。

### ある程度以上の品質で<br>あらゆる場面で使えるものを探している方には

ここでは、次の代まで受け継ぐ品質ではなく、「ある程度以上の品質」と考えるわけですから、長期間養殖をした“こしもの”や、真珠層の厚みを測定した品質保証書付きでなくてもよいと考えます。
また、「あらゆる場面で使える」ためには、ときに控え目であることも要求されます。ということは大きすぎないサイズ、無難なサイズであることも大切です。そんなネックレスを探しているときに、とにかく大きなものをと8.5mmアップの大きな珠のネックレスを薦めても、つける機会が限られてしまい、また限られた予算の中ではバランスの悪いものになってしまうでしょう。
こんな場合は、小さめサイズのものを選び、その分サイズ以外の評価基準のできる限り高いものを選ばれるといいでしょう。

### そこそこのものを<br>とにかく安価で欲しいというケース

とにかく安いものをということであれば、いくつか比べて、その中できれいなものを選べばいいので簡単です。しかしこのケースは、満足につながらない可能性も高いのです。多くの列席者が真珠のネックレスを身につけているフォーマルな場に、「そう頻繁に使うものではないから安価なものでいいな」と考えて購入したものを着けてゆけば、不安感を覚えるかもしれません。
そこそこのものをとにかく安価でとお考えなら、もう一度考え直してみてください。それでもやはりということなら、中国産の淡水真珠や、マヨルカなどの上質な模造真珠も視野に入れて考えてみるのもいいでしょう。

見本

## ④購入してはいけないお店

フォーマルな場で、可愛想なぐらい痛んでしまったネックレスをつけている人を見かけることがあります。プロでなくても、ある程度良いものを知っている人にはすぐに気付かれます。痛んでしまって安っぽく見えるネックレスは、つける人の雰囲気を壊してしまいます。

これは販売店が粗悪品を販売したか、お手入れ方法を説明していないか、アフターケアをしていないか、そのいずれかが原因だと思います。真珠のきちんとした商品知識を持った信頼できるお店は、すぐに痛んでしまう粗悪品を販売することはありません。そんなお店では購入の際に、毎回の装着後のお手入れ方法をちゃんと説明します。そして、お店でしかできない定期的なお手入れのサービスも、喜んで引き受けます。

毎日の装着後のお手入れをしていても、使っていれば珠も糸も痛みます。永くご使用になるには、年に一度は洗浄し、磨いて、糸替えすることが必要になるのです。それをきちんとするのが販売店の責任です。きちんとしたアフターケアが期待できないようなお店であれば、考え直したほうがいいでしょう。通販であっても同じことです。

購入前にぜひ、その販売店や通販はいつまでもアフターケアをしてくれるのか？という点を確認してください。

見本真珠

いろいろと書いてきましたが、

いよいよ最後になりました。

「真珠のネックレスを買おうかな」と考えて

この冊子を手にとってくれた方が、

よいネックレスに出会い、

そして充実感や感動を手にしてくれたら、

私たちも、真珠たちも、とても幸せです。

よい出会いとなりますように。

ありがとうございます。

覺田真珠

覺田真珠株式会社

本社：三重県伊勢市本町7-5　Tel.0596-28-0231　Fax.0596-27-1176

神戸営業所：神戸市中央区中山手通1-23-16-305　Tel.078-221-2530　Fax.078-221-2535

Copyright (C) 2010 KAKUDA PEARLS CO.,LTD All Rights Reserved.